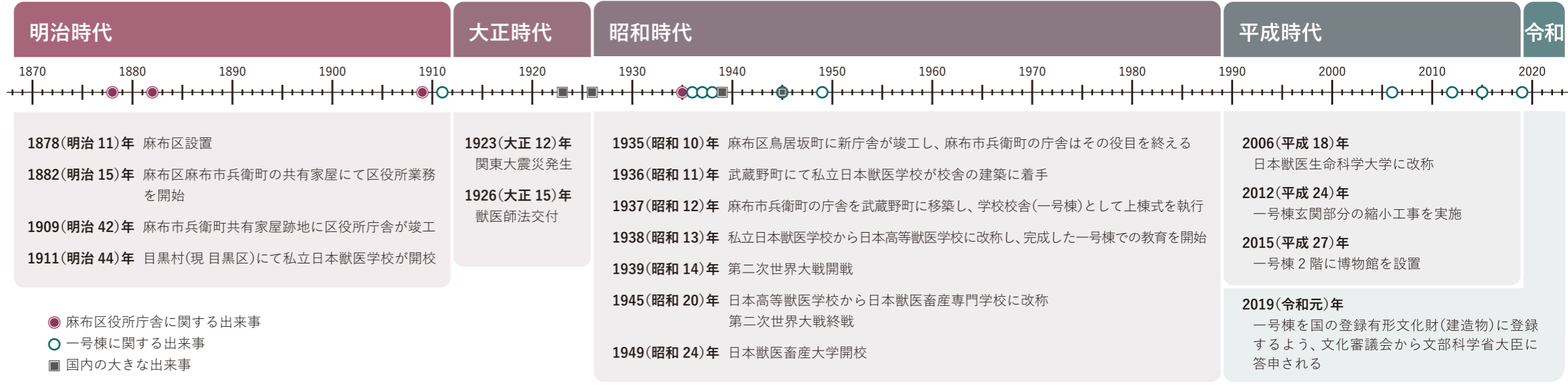


旧東京市麻布区役所庁舎は、都内に唯一現存する明治期の役所建築です。1909(明治42)年に東京市麻布区あざふいちべえちょう麻布市兵衛町(現東京都港区六本木3丁目)に竣工した後、1937(昭和12)年に武蔵野町(現武蔵野市)に移築され日本高等獣医学校(現日本獣医生命科学大学)の校舎となりました。



旧東京市麻布区役所庁舎

1909(明治42)年に竣工した木造2階建ての庁舎には、1階に事務室が、2階に議場と職員控室が設置されていました。竣工時の図面は残っていませんが、当時の学術雑誌^[1]や本学一号棟の屋根裏から発見された棟札から、工事の監督を東京市営繕課長小原益知が、設計を下谷区役所や浅草区役所の設計も行った小林鶴吉が担当したことがわかっています。

庁舎は、1923(大正12)年の関東大震災でも大きな被害を出すことはありませんでした。しかし1935(昭和10)年に鳥居坂町に建てられた新庁舎での業務が始まると、麻布市兵衛町の庁舎は役目を終え、使われなくなりました。

左：麻布区役所庁舎
右：庁舎の上棟に際し作成された棟札

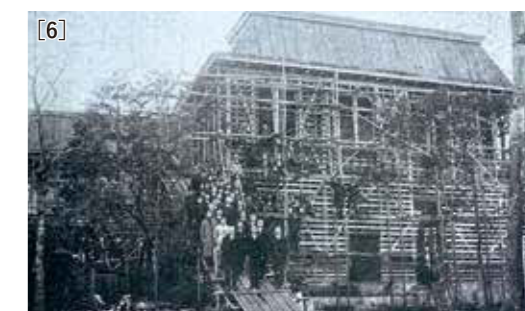


表 裏

日本獣医生命科学大学一号棟

1911(明治44)年に目黒村にて開校した私立日本獣医学校は、1926(大正15)年の獣医師法の公布を契機に武蔵野町への移転を決断します。この時、関東大震災を経て役目を終えた麻布市兵衛町の区役所庁舎を買い取り、移築したものが現在の一号棟です。なお、一号棟は現在の名称であり、移築当時は本館と呼ばれていました。

一号棟竣工当時の図面は見つかっていませんが、当時の写真から、移築に際し玄関ポーチの形を変える・窓の回りの装飾を撤去するなどの改修を行っていたことが読み取れます。また、2012(平成24)年には、現在の建築基準法に適合するため、本館入り口の車寄せとバルコニー部分の縮小化工事が行われています。



左：移築当時の一号棟
右上：地鎮祭の様子
右下：移築工事の様子

引用・出典・所蔵 [1]日本建築学会(1909)「建築雑誌 第二百六十九号 叢録時報(pp.213-214)」/[2]東京市役所(1927)「東京震災録 地図及写真帖」(港区立郷土歴史館所蔵)/[3]当館所蔵/[4]日本高等獣医学校 専門学校第5期卒業アルバム(1944年卒業)/[5]日本獣医学校校友会(1936)「目黒友報 第十三号」/[6]日本獣医学校校友会(1937)「日獣会報(目黒友報改題)第十四号」

写真で見る一号棟

現在の一号棟の様子を撮影しました



A: 正面から見た一号棟
 B: 西側の階段
 C: 2階の廊下
 D: 中庭から見た一号棟
 E: 正面玄関
 F: 玄関ポーチ
 G: 東側の階段



国指定登録有形文化財(建造物)

旧東京市麻布区役所庁舎

日本獣医生命科学大学一号棟

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアムのご案内

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアムは、2015(平成27)年に開館した本学附属の博物館です。一号棟を活動拠点とし、本学の歴史や日本の野生動物に関する展示を行うほか、一号棟に関連した資料の収集・整理を続けています。

場所

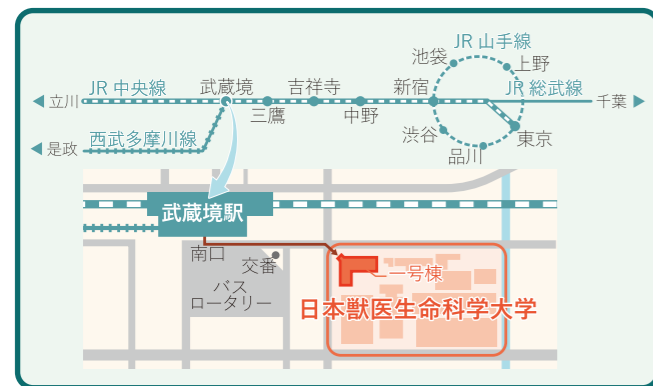
東京都武蔵野市境南町 1-7-1
 最寄り駅: JR 中央線・西武多摩川線 武蔵境駅
 南口より徒歩 2分

お問い合わせ先

日本獣医生命科学大学
 附属ワイルドライフ・ミュージアム
 電話: 0422-31-4151(代)
 メール: museum@nvl.ac.jp



お問い合わせフォーム



当館に関する最新情報は、
 博物館ページや博物館公式 SNS をご覧下さい



博物館ページ



Facebook



You Tube

各ページは本学公式サイトからもアクセスできます
<https://www.nvl.ac.jp/>

表紙画像出典・所蔵 [1]東京市役所(1927)「東京震災録 地図及写真帖」(港区立郷土歴史館所蔵)/ [2]日本高等獣医学校 専門学校第5期卒業アルバム(1944年卒業)/ [3]日本獣医畜産大学 大学第36期生(獣医学科36期生)卒業アルバム(1990年卒業)